

				科目コード*	113
科目名	思春期ヘルスケア (Adolescent Health Care)			選択区分	選 択
単位数	1 単位	時間数	15時間	学 期	前 期
担当教員	中越 利佳			区 分	助産学実践領域
授業概要	思春期の発達課題、健康課題を中心とした支援について教授し、地域の思春期集団を対象とした健康教育について企画、演習を行う機会を設定する。				
授業目標	思春期の特徴を理解し、リプロダクティブヘルス/ライツの視点に立った健康教育の実際を修得することができる。				

授業内容

回	項 目	内 容
1	思春期の概念・思春期の健康課題と健康問題	思春期の身体的・心理的・社会的特徴、思春期を取り巻く社会環境 思春期のセクシャリティの特徴 思春期の健康課題と健康問題
2	思春期の性に関する教育の実際	思春期の性意識と性行動の実態 学校教育における性に関する教育の現状と課題
3～4	思春期健康教育の意義と課題 思春期健康教育の実際と展開方法①	我が国の性教育の現状と課題 助産師が行う思春期健康教育の実践例 (思春期前期～中学生、高校生、保護者) 思春期健康教育の企画書・指導案作成 (グループワーク)
5～6	思春期健康教育の実際と展開方法②	思春期健康教育のための指導案・教材作成 (グループワーク)
7～8	思春期健康教育の演習	指導案発表、模擬授業の実施 模擬授業の質疑応答、相互評価 まとめ
成績評価方法	授業案の完成度 (30%)、模擬授業の完成度 (50%) グループワークの積極的貢献度 (ピアレビュー10%) レスポンスカードの記載内容 (10%) で評価する。	
教科書	堀内成子 「助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ」(医学書院)	
参考図書等	参考図書は適宜紹介	
備 考	本講義は受胎調節実地指導員資格取得に必要な単位を含んでいる。	